

船+自転車=サイクルージング

瀬戸内海巡って島々快走

福山市を発着点に瀬戸内海の島々をクルージングで巡り、サイクリングを楽しむ新たな観光スタイルの試みが来年2月にも始まる。瀬戸内しまなみ海道を中心に、国内有数のサイクリングスポットとして人気を集める中、新たなルートを開拓する。

計画では、常石グループの境方浜リゾートが、福山市沼隈町で運営するマリナーに、レンタル用のスポーツ自転車を置く。クルーザーに最大6台まで積み、サイクリングに適したポイントのある島まで送迎する。当面

福山発着 2月にもスタート

は同リゾート経営のホテルの宿泊者を対象に始める。料金は検討中。

現在は2011年2月6日の生名橋開通をにらみ、橋でつながる愛媛県上島町の佐島と生名島、弓削島の3島を自転車で行く「かみ・しまなみルート」の計画を練っている。岡本昇取締役は「しまなみ海道より交通量が少なく、安全に楽しめる」と説明する。

瀬戸内国際芸術祭の開催や宮崎駿監督のアニメ「崖の上のポニョ」もあり、瀬戸内海は観光地として国内外の関心が高まっている。特に、しまなみ海道を中心にサイクリングの名所として人気が広がっている。岡本取締役は「自然や景観の素晴らしいことと、島の歴史や文化を掘り起こし多様なルートを提案したい」と話している。

(伊藤敬子)



クルーザーに自転車を積み込み、サイクリングのポイントまで瀬戸内海を航行する